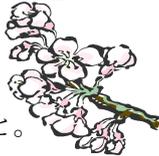


## 進級おめでとございます！

13日（金）に卒業式が終了し、3年生のいない校舎がとてもさびしく感じられます。1, 2年生にとっても、本日の修了式をもって今年度の学校行事がすべて終了となりました。進級おめでとございます。また平成26年度が無事に終わられたことに対し、保護者の皆様には心より感謝申し上げます。

本日の修了式では、生徒達に対して、  
①西袋中の生徒としての自覚をもつこと。  
②毎日の授業を真剣に、集中して受けること。  
③事故のない充実した春休みを送ること。  
の3つについての話をしました。ご家庭におかれましても、話題にしていただければと思います。



この4月から、2年生の皆さんは最上級生となり、「学校の顔」となって諸活動の中心となります。1年生も、新入生から先輩と呼ばれる立場になり、模範とならなければならぬ機会も増えてきます。学習や部活動に、今よりもさらに成長した姿が見られるよう期待しています。

## 感動的な卒業式が終了！

13日（金）に第68回卒業証書授与式を行い、中学校3ヶ年の課程を修了した107名の卒業生が巣立ちました。多数のご来賓の皆様と保護者の皆様に出席していただき、深く感謝申し上げます。



式は午前10時から始まり、担任の呼名に元気よく返事した卒業生に一人一人に、卒業証書を手渡しました。

また、来賓の皆様から祝辞をいただいた後、市教育委員会から溝井りり子さんに、本校PTAから鈴木孝太くんに、記念品が授与されました。送辞は在校生を代表して生徒会長の遠藤龍世くんが行い、答辞は卒業生を代表して前生徒会長の小林凌くんが、学校生活3年間に友達と一緒に活動したさまざまな思い出や、親や家族、先生方に感謝する内容の答辞を述べました。式歌では、「さようなら」を全校生で合唱し、3年生からは「旅立ちの日」の合唱がありました。そして全校生での最後の「校歌」がありました。心を一つにしたすばらしい合唱で、涙をこらえながら歌う姿も見られました。



ご来賓・保護者の皆様にも多くの感動を与える卒業式となりました。



## 《お知らせ》

- ◎須賀川市青少年育成ジュニアボランティア県外研修事業  
27日（金）～29日（日）までの3日間、市内の中学生20名（本校から2名）が県外研修事業に参加します。  
①参加者 遊佐栞那さん 小林恵美奈さん  
②研修先 神奈川県横浜、東京都三鷹市・墨田区・台東区
- ◎離任式 3月31日（火）9：00～  
生徒登校 8：30～8：40
- ◎始業式・入学式 4月6日（月）  
登校 ～8：10  
着任式・始業式 8：50～  
入学式 13：30～

## 朝、がんばってます！

毎朝、特設陸上部でたくさんの生徒が練習に励んでいます。朝早くから練習に取り組んでいる姿を見ると、清々しさを感じるとともに、一日の学校生活に元気をもらえるような気がします。本番の中体連陸上大会での活躍を今から楽しみにしています。



## ☆☆☆こころの窓☆☆☆

自分の思いが通じないと、人は不満を持つものです。人の心理としては極々当然のことではあるが、心の置き場所によっては雲泥の差となって表れることもあります。自分自身への自戒の念を持って、幸せになるような不満を持ちたいものである。

### 幸か不幸か

誰でも自分の思い通りにならないことが起きると不愉快な気持ち、つまり不満を持つものである。同じ不満でも、何に不満を感じているかは、人それぞれ。聞いた話だが、能力のある人は自分自身の不甲斐なさに向けた不満、能力のない人は自分以外の人や環境に対してに向けた不満。

自分自身に不満を感じている人は、「このままではいけない」という向上心を持つようになるが、他人や環境に不満を感じれば、自分は悪くないと思うことから、「努力をしよう」とする気持ちすら持たなくなる。この差は言うまでも将来的には大きな差が生じてくる。不満と満足は表裏一体。

こんな例がある。腹痛に苦しんでいるとき、「この腹痛のせいで、気分は最悪」となる。しかし、腹痛と頭痛と同時に悩まされていたとしたら、「せめて腹痛だけでも治まってくれれば」と。

何に不満を感じているかで、幸と不幸が大きく左右されるもの。不満を持つならば、自分が幸せになるような不満を持つことがとても重要である。

（新聞のコラムより抜粋）